

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

臨床研究名称： 看護師のアセスメント能力育成に向けた熟達化過程の検証
—看護記録の分析—

研究の目的

超高齢社会を迎える日本では暮らしと医療を支える看護提供システムの構築や、その実現に向けて看護師の実践能力の強化が求められています。このような中で、看護の実践場に合わせて状況を判断し、看護ケアを選択、実践していくために、看護師には収集した情報を分析・集約・解釈する能力を向上させるための教育が必要であると考えられます。しかし、新人看護師が一人前、中堅看護師と成長する過程において看護師の思考過程の変化に関する調査は少なく、具体的な教育方法を開発・検証するうえで現状を把握することは課題であると考えられます。本研究課題では、心不全のため入院された方に対する看護師の指導場面、手術のために入院された方に対し、看護師が行う手術後の療養環境の調整場面に着目し、これらの場面について看護師が記載した看護記録を分析することで、看護師の習熟段階による思考内容の特徴を明らかにしたいと考えています。

研究実施期間： 実施許可日～2028年3月31日

対象となる方： 2021年10月1日～2022年3月31日までの間に、以下の病棟に入院された方

- ・心不全の治療のために入院棟東4階（旧 第一病棟7階）に入院した方
- ・全身麻酔での手術を受けるために入院棟東2階（旧 第一病棟4階）、第二病棟6階に入院した20歳以上の方

利用させていただきたい試料・情報について

（他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む）

当院の看護記録に記載されている情報のうち、対象となる方の以下の記録を標記研究課題実施のために利用します。

利用させていただきたい記録は、

- ・看護計画
 - ・経過記録
- となります。

これらの看護記録の内、慢性疾患患者さんに対する看護師の指導場面、手術後の療養環境の調整場面に関する記述の意味内容を確認して、分類します。分類した看護記録は、記録を記載した看護師の習熟段階毎に内容を比較し、看護師の習熟段階による思考内容の特徴を明らかにしたいと思います。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して（これを匿名化といいます）、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対

象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん／その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先	保健学研究科 看護学領域・土屋 涼子 0172-39-5940/tsuchiya@hirosaki-u.ac.jp
--------------	--